

書評

坪田紀明 著

イラストレイテッド肺癌手術
手技の基本とアドバンス・テクニック [DVD 付]
(第2版)

京都大学大学院医学研究科器官外科学講座呼吸器外科教授

伊達 洋 至

DVDを伴って、待望の第2版が出版された。2003年に出版された初版は、坪田先生オリジナルのイラストを使ったわかりやすい解説から、多くの呼吸器外科医に親しまれてきた。そのわずか4年後の2007年に、進化版が世に出た。本書を手にとって読んでみると、坪田先生がこれまでの呼吸器外科医としてのキャリアの集大成として本書を完成させた意気込みが伝わってくる。

本書の特徴は、まずアートともいえる独自のイラストである。坪田先生が手術記録をていねいにつけられていたことが窺われるが、これほどポイントを押さえたわかりやすいイラストは見たことがない。これに術中写真、気管支鏡、各種画像、そして坪田先生独特の臨場感あふれる解説が加えられて

いる。緊急大出血に対する心嚢内での肺動脈確保法などは、読むだけで手に汗を握る。

次に、各論にみられる多彩な手術手技の解説である。肺葉切除といった基本的手術から、坪田先生が生み出した拡大区域切除術や、特殊な気管支形成術まで網羅されている。特に拡大区域切除術に関しては、初心者にはわかりにくい亜区域支レベルの術野での解剖が見事に描かれている。読者が稀な手術に臨む場合には、本書を前日に読んでおくと術野のイメージを作ることができることだろう。

さらに、200分を超える46本もの手術手技をまとめたDVDが第2版では付録された。坪田先生が数々の学会で発表してこられたオリジナルビデオであり、一本一本がていねいに作られており、画

質も見事である。手術室の音がそのまま聞こえてくる臨場感に加え、随所に坪田先生ご自身のナレーションで解説が加えられている。本書と見比べながら勉強するのに非常によい。

坪田先生の30 cmクーパーの逆さ持ちの解説もおもしろい。トロント大学のPearson先生から坪田先生が学ばれたテクニックである。小さな開胸創から深い胸腔内の手術を行うときに極めて有効である。私もこのテクニックを使っているが、呼吸器外科医にはぜひマスターしてもらいたいテクニックである。

本書は、初めて呼吸器外科を学ぶ初心者、肺葉切除を始めた中級者、そしてすでに呼吸器外科専門医として活躍している上級者、そのすべてに読んでいただきたい。坪田先生が、それぞれのレベルに応じた教育を大切にされてきたことが、本書に生かされているからである。

〔A4 頁216 2007年 定価
18,900円(本体18,000円+税5%) 医学書院刊〕